



2024年8月14日

各位

会社名 株式会社 Birdman
代表者名 代表取締役社長 伊達 晃洋
(コード番号:7063 東証グロース)
問合せ先 執行役員 CFO 兼 管理本部長 若山 尚文
(TEL 03-6865-1322)

営業損失および特別損失(減損損失および貸倒損失)の計上に関するお知らせ

当社は、2024年6月期第4四半期において、下記の事由による営業損失および特別損失(減損損失および貸倒損失)を計上致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業損失の内容

当社は、EX 事業の次なる戦略として育成してまいりました「Celest1a」を含むグループユニットに関する投資費用に関し、長期契約期間に基づき償却を行なってまいりましたが、当初計画に対し、デビュー時期に遅れが生じたことから、583,543千円を損失計上することといたしました。

しかしながら、SUPER JUNIOOR ウニョク氏プロデュースの K-POP グループ「Celest1a(セレスティア)」のデビューも確定(2024年7月31日)し、デビューシングル「PANDA」のMVをCelest1a公式YouTubeチャンネルを通じて全世界同時公開を行いました。今後の同事業の拡大・発展に向けてマネジメントおよび組織の再編を行うなど、早期の収益化に向けた取り組みを推進してまいります。

2. 特別損失の内容

(1) 減損損失

当社が予定していた大型イベントが、出演アーティストの都合により開催延期となったプロジェクトの再公演スケジュール予定が決算期末日までに確定できなかったこと、また、固定資産に関して今後の回収可能性を慎重に検討した結果、特別損失(減損損失)として公演延期によるものとして397,402千円、建物附属設備38,742千円、のれん10,558千円、その他46,719千円、合計で493,421千円を計上することといたしました。

(2) 貸倒損失

2024年5月1日付「特別損失の計上に関するお知らせ」で公表した、当社が2023年10月に開催を予定した公演に関する出演費について、返金に関する覚書に基づき、2024年6月期末日までに回収を見込んでおりました金額が回収できなかったことから、今後の回収可能性を慎重に検討した結果、特別損失(貸倒損失)として197,716千円を計上することといたしました。

3. 今後の見通し

上記の営業損失および特別損失(減損損失および貸倒損失)につきましては、本日公表の「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以上